

ステージ通信

Q

Vol.7 2005 [冬]

◇Pre-stage Voice

北九州芸術劇場プロデュース
ルルル～破滅の微笑み～
構成・演出 / 白井晃

◇特集

ようこそ!
「ファンタスティックス」な世界へ

◇Resonance in HIBIKI HALL

若き名手2人が紡ぐ、
友情のアンサンブル

◇Relay Essay

小山実稚恵 ピアニスト

Stage-Preview

Calendar of Program

北九州芸術劇場プロデュース

~破滅の微笑み~

構成・演出 / 白井晃

昨年春、ゲーテの長大な原作に音楽と映像、巧みなステージングと瑞々しい俳優の肉体を駆使して命を吹き込んだ舞台「ワルブルギスの音楽劇『ファウスト』」を誕生させた演出家・白井晃。次々と話題作を放つ彼が、2005年春、北九州芸術劇場発の作品に新たに選んだ題材は、**運命の女ルル**を巡る生と死と欲望の物語、『ルル』だ。100年以上前に書かれながら、まったく色あせない原作の魅力と衝撃を、いかに舞台化するのか。その構想をいち早く聞いた。

Q 白井さんと『ルル』という作品の出会いはどういうものでしたか？

A 『ファウスト』に続いて北九州芸術劇場のプロデューサー・能祖さんに声をかけて頂いたとき、『ファウスト』が「男の物語」だったので、今度は「男と女の物語」はどうだろうと言われたんです。そこから一人で作品を検討するなかで浮かび上がったのが映画『パンドラの箱』*1。作者のヴェデキント*2はもともと知っているのですが、その原作戯曲二部作*3を、最初に見た映画のイメージが僕の中では致していかなかった。それで改めて戯曲を読み、100年以上前の作品なのに人間の性や欲望をダイレクトに描いていて、そのセンセーショナルな内容に強く惹かれたんです。

Q 関わる男を次々に破滅させるヒロイン・ルル像が鮮烈ですよね。

A そう、奔放な女性に翻弄される男の姿が僕ら40代半ばぐらいの男には非常にグッと来るものがあるんです(笑)。なぜだろうかな……多分このぐらいの年代は意識・無意識に関わらず社会というものを背負わずに生きて、それが、本当は嫌なんだ」と口にしながらもがんじがらみになっている。だから常識を破って救い出してくれる存在を女性の奔放さの中に見出だしているからじゃないかな。そう、一見破滅に見えるけど、それは救済を求めた結果なんです。考えてみると、『ファウスト』に登場する、悪魔メフィストもこれに似た存在。それに、『ファウ

スト』を題材にした手塚治虫さんの漫画『百物語』も、メフィスト役を女性にしている。面白い符合ですよ。

社会と本能、男と女両者の対比を柱に

Q 多彩な見方ができる作品ですが、今回の舞台化の柱になるものは？

A 単純に「男の運命を狂わせる悪女」を描きたいのではなく、男「社会的規範と女」感情や本能「この両者の対比を舞台化した」な、と思っています。

ルルを欲するさまざまな男たちが登場しますが、なかでもルルを見出だすシーンの対立が、特にこれに当てはまるものの破滅するのはシーンですがルルは悪いことを仕掛けたわけ

ではなく、ただ己の本能のままに生きただけなんです。それが男の死や零落を招くだけ。しかも最終的には彼女自身の運命をも壊していく。それは反社会的な存在が、社会の制裁を受け滅びるという図式にも当てはまりますよね。

男女の物語というワードな部分をベースにしつつ、そんなに大きな社会の構造をも舞台上に表現できたらいいなと、今は思っているんですが。

実現したベストのキャストینگ

Q その中心的な二人を演じるのが、秋山菜津子さんと古谷行さん。

ルルを演じる秋山さんは作品ごとにさまざまな面を見せて

*1 映画『パンドラの箱』

ヴェデキントの戯曲を、1929年にゲオルク・ヴァルヘルム・パプスト監督が映画化。主演はルイズ・ブルックス。彼女の純真と妖艶をないまぜにした、圧倒的な存在感が「ルル」を普遍的なものにした。その魅力に取りつかれた文化人も多く、なかでも作家・大岡昇平はフォ・エッセイ『ルイズ・ブルックスと「ルル」』を出版している。

*2 フランク・ヴェデキント

1864～1918、ドイツの劇作家・俳優。社会道徳に対して批判的な作品を数多く執筆。その風刺性の高さにより投獄されたこともある。日本では、他に少年少女の性を題材にした『春のめざめ』などが上演されている。

*3 原作戯曲二作

ルルの転落の生涯を描くヴェデキントの原作は、『地霊』と『パンドラの箱』の二部に分かれており、1895年からおよそ10年の月日を費やして書かれた。1904年には、反道徳的な表現とラディカルな性描写により、『パンドラの箱』が猥褻文書として告訴される。舞台版は一部が1898年、二部が1904年に初演。他にアルバン・ベルク作曲のオペラ版『ルル』もある。



Shirai Akira with Lulu

ね。社会的な地位も財産もあり、権力も持っているという。その役が古谷さん。

シオンは年輩であつても色気がある男性でないといけないと思つていて、そこで思い当たったのが古谷さんなんです。

強さがある。そのイメージが非常にルルに重なる。もちろん男性を惹きつける魅力、妖艶さもある。なのにそこには女性性のどろどろとした粘着性がなく、どちらかといえばパウダーな印象なんです。

正直言えば、まず、無理だろう……と(笑)、当たって砕ける感じで打診してみたら思わぬOKをいただいて、作品について僕が考えていることに、興味を持っていただけたのは本当に良かった。あれだけの存在感に加え、演技に対して非常にストイックな方なんです。一緒に舞台を作る者として、これ以上心強いことありません。それに秋山さんとかつてドラマで共演していたらして彼女のルル役にも賛同してもらって、二人のぶつかり合いは本当に楽しみです。

Q そのルルを少女の時に見出し、魅力的な女性として仕立て、育てるのがシオンです

ええ、息子さんでDragon Ashとして活躍する降谷健志さんが武田真治さんたちとユニットを組んでいるnidoというグループに、音楽と映像を担当してい

もちろんお一人だけでなく根岸季衣さん、小田豊さん、浅野和之さん、俳優の増沢望さん、ナイロン100のみのすけさん、元カクスコの岸博之さんなど実力のある方に集まっていたと思っています。

ただくことになりました。エレクトロニクスというジャンル、音楽と映像が一体化している最先端の表現なんです。僕らはひと目惚れ、ひと臆き惚れでした(笑)。今回の話を古谷さんがしたところ、親父面白そうなことするじゃないかと初めて言われたんだそうです。ちょっと映画音楽などに、降谷さんが活動の範囲を拡げていたこともあって、この作品に参加していただけることになりました。

その人の未知の力を一緒に探したい

谷さんが活動の範囲を拡げていたこともあって、この作品に参加していただけることになりました。

Q 古谷さんのキャスティングから音楽と映像に、思わぬ広がりが出たとか。

Q そして振付にはイデリアン・クルルの井手茂太さん。

ええ、息子さんでDragon Ashとして活躍する降谷健志さんが武田真治さんたちとユニットを組んでいるnidoというグループに、音楽と映像を担当してい

井手さんの作品は3Dで楽しい印象がありますが違う面も多く持っていて。今回はその辺を見せてもらえればと。

僕は一緒に創る俳優さんや他のプランナーの方に「きつとまだ何か隠してあるでしょ？」と常に思っていて(笑)。そこが見たい、創作の過程で一緒にみたいんです。そういう意味では井手さん、携わるすべての方、今回そういう発見の作業ができればいいなと思つています。その全員で起こす化学反応が、どう客席に伝わるか。非常に楽しみです。



白井 昇(しらい あきら / 構成・演出)

早稲田大学在学中、演劇研究会に在籍。卒業後、1983年に「遊○機械 / 全自動シスター」を結成。俳優として全公演に出演すると共に、演出家としても高く評価されるようになる。94年『ラ・ヴィータ』(演出・出演)で平成6年度文化庁芸術祭賞を受賞。95年TVドラマ『王様のレストラン』への出演を契機に、テレビ、映画など映像の世界でも活躍。01年の舞台演出活動全般と02年の『ピッチフォー・ディズニー』『クラブ・オブ・アリス』で第9回・第10回の読売演劇大賞優秀演出家賞を連続受賞。02年10月、遊○機械 / 全自動シスターの活動を終了し、表現者としてさらに新たな一歩を踏み出した。2004年はNHK大河ドラマ『新選組!』に清河八郎役で出演するなどTVやCMで俳優として活躍のほか、演出家としては、3月に北九州芸術劇場と世田谷パブリックシアターで上演の北九州芸術劇場プロデュース公演『ワルブルギスの音楽劇「ファウスト」』構成・演出、10月にはシアターラムで上演の『溺れた世界』(作 / ゲイリー・オーウェン)の演出など積極的に活動している。

北九州芸術劇場プロデュース **ルル** ~ 破滅の微笑み ~

Cast Profile

秋山菜津子

(あきやま なつこ / ルル)
舞台を中心に活躍を続け、02年tp1「ブルールーム」(演出 / デヴィッド・ルヴォー)などで第36回紀伊國屋演劇賞個人賞、第9回読売演劇大賞優秀女優賞、杉村春子賞を受賞している実力派女優。近作に、舞台『透明人間の蒸気』(作・演出 / 野田秀樹)、『ドライブインカリフォルニア』(作・演出 / 松尾スズキ)、『胎内』(作 / 三好十郎、演出 / 栗山民也)、『SHINKANSEN RX SHIROH』(作 / 中島かずき・演出 / いのうえひでのり) 映画『ピカニック』(監督 / 堤幸彦) などがある。



古谷一行

(ふるや いっこう / シオン)
67年劇団「俳優座」入団。72年の退団後、映画、テレビ、舞台などで幅広く活躍。『金田一耕助』シリーズ、TV『失楽園』、『火曜サスペンス劇場』、『土曜ワイド劇場』などテレビドラマの人気シリーズで知られる。主な出演作に、舞台『マディソン郡の橋』(原作 / ロバート・ジェームズ・ウォラー、演出 / 山田和也)、『長崎ぶらぶら節』(原作 / なかしし、演出 / 堀井康明)、『検察側の証人』(原作 / アガサ・クリスティ、演出 / 山田和也) 御園座『孤愁の岸』(原作 / 杉本苑子、脚本 / 堀越真) 映画『手紙』(監督 / 松尾昭典) など。



日時 3/24(木) ▶ 27(日)
24 木 25 金 26 土 27 日
14:00
19:00
○...プレビュー公演
●...本公演(25日はアフタートーク有)
開場は開演の各30分前

場所 北九州芸術劇場 中劇場
原作 F・ヴェデキント
構成・演出 白井昇
脚本 能祖将夫
音楽・映像 nido(降谷建志、上杉俊祐、吉川寛、武田真治)

振付 井手茂太
出演 秋山菜津子、古谷一行、増沢望、根岸季衣、小田豊、浅野和之、みのすけ、岸博之、まるの保
他
プレビュー公演
S席3,800円(当日4,300円)
A席2,800円(当日3,300円)
本公演
S席4,800円(当日5,300円)
A席3,800円(当日4,300円)

一般発売 1月30日(日)

Pコード B52-913 Lコード B9885

根岸季衣

(ねぎし しえ)
75年、つかこうへい演出『ストリッパー物語』で初舞台、主演。舞台、テレビ、映画などで際立った個性と存在感で知られる実力派女優として活躍中。近作は、映画『さよならクロ』、『ゲロッパ!』、『天国の本屋 - 恋火』、舞台『サノオ 神の剣の物語』、『山ほととぎすほしほま』、『時の物置』など。



浅野和之

(あさの かずゆき)
安部公房スタジオを経て、87年劇団「夢の遊眠社」に入団。92年の解散まで全公演に出演。その後栗山民也、松尾スズキ、永井愛、三谷幸喜、鈴木勝秀など様々な演出家の作品に出演。近作に舞台『NODA-MAP』、『走れメロス - 少女の唇からはダイナマイト!』、TV『僕と彼女と彼女の生きる道』、『世界の中心で、愛を叫ぶ』など。



みのすけ

俳優、ミュージシャン。95年、KERA(ケラリーノ・サンドロヴィッチ)、犬山イヌことともに劇団「健康」(現・ナイロン100)を旗揚げ。劇団の看板役者のひとり。舞台のほか映画やTVと幅広く活躍。近作にナイロン100『消失』、映画『1980』など。



増沢望

(ますざわ のぞむ)
93年劇団「俳優座」入団。98年俳優座『あなたまでの6人』でポール役で読売演劇大賞優秀男優賞を受賞。舞台『OUT』、『ハムレット』、『暗い日曜日』、映画『みす』、『NHK大河ドラマ』『新選組!』などに出演。



小田豊

(おだ ゆたか)
71年、早稲田小劇場(後SCOT)入団。劇団「真空艦」劇団「卍」、同人制「桃の会」を経て現在フリー。近作に舞台『ヤジリシ一流されて』、『トーキョー・ボディ』、『木の皿』など。



岸博之

(きし ひろゆき)
87年劇団「カクスコ」設立と同時に参加。02年の解散まで、全作品に出演。第33回紀伊國屋演劇賞団体賞を受賞。近作は、ミュージカル『門門版「ファンタステックス」』、劇団道学先生『兄妹どんぶり』、『酒坊っちゃん』など。



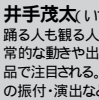
まるの保

(まるの たもつ)
近作に、舞台 御園座『孤愁の岸』、芸術座『夫婦漫才』、帝国劇場『残菊物語』、TV『お母さんもって生きたかった』(TBS水曜プレミア) など。



井手茂太

(いで しげろ) 振付家。イデヒアン・クルー主宰。踊る人も観る人もダンスを楽しむことを基本に行い、日常的な動きや出演者の個性を活かしたオリジナリティのある作品で注目される。英国のダンスカンパニー、ダイバージョンズへの振付・演出など、イデヒアン・クルーの他にも多くの作品に関わる。MODE x 世田谷パブリックシアター公演『AMERIKA』への振付で、第11回読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞。



取材文 / 尾上そら 撮影 / 加藤幸広

撮影 / 加藤幸広



2003年、全国各地を温かな感動で包んだ、亜門版「ファンタスティックス」。ミュージカルの原点とも称される本作は、笑って、泣いて、感動して…

そんな、観る者全てを幸せな気持ちにしてくれる珠玉の名作です。再演を強く望む声に応え、2005年2月、再び全国9都市での上演が決定！主役・マットを演じるのは、瑞々しい演技が演出の宮本亜門氏に、マット役は彼しかいないと言わしめた井上芳雄さん。再び「ファンタスティックス」の舞台を踏む彼に、作品の魅力、再演にかける想いなどを伺いました。

大好きなこの作品を再演で喜ぶのは、自分への褒美

「今回ファンタスティックスをもう一回やらせてもらえること、自分にとってのご褒美みたいな感じですよ」と言い、端正な顔立ちに笑みがこぼれます。なぜなら、ファンタスティックスは井上さんにとっては特別で宝物のような作品。アメリカで42年間モロングランされた本作は、研ぎ澄まされたシンブルな構成、台詞から歌に移行する自然な流れ、派手さはないものの確実に人の心に届

く温かなストーリー。全てが奇跡のような作品だと井上さんは手放して絶賛します。しかし、彼の言う「ご褒美」という言葉には、もう一つ理由がありました。

「実は初演のメンバーがとても仲がいいんです。全国を一緒に回り、飲んで語り明かしたこともあるからでしょう。今でもよく集まります。僕は仕事ごとに仲間が変わるので、その都度その仲間たちと仲良くなることはありますが、ファンタスティックスのメンバーは別格。まるで学校の同窓会のように。キャストという作品

ひとつのことを好きでい続けること、それも才能のひとつ

そういうながらも、心底演じるのが好きな井上さん。彼の演技を見ると芝居に対する愛情の深さが目瞭然です。それもそのはず。なんと芝居が好きになったのは10歳の頃。福岡の百道浜のテントで観た劇団四季「キヤッツ」に魅了された彼は、その後ひたすらミュージカル俳優になるための努力を続け、夢を実現させたというサクセスストーリーの持ち主。目標に向かってひたむきな想いや意志の強さには、ただ驚くばかりです。

「子どもの頃からやりたいことが明確だったこと、やりたいことがやれることだったこととは僕にとって、とても幸せなことでした。大学を卒業して今は毎日舞台に全力を注ぎ込んでいる。やりすぎて嫌になるんじゃないかという不安や、思うように演

技ができず落ち込むこともありですが、結局嫌になれないんです。僕に才能があるとしたら、ずっと好きでい続けられる、そのことがも、それにミュージカルという表現形態が自分に合っている気がします。普段の僕はとても穏やかで、感情の起伏が少ないほう。でも、ミュージカルだと感情を豊かに表現できるので、それで普段の自分とのバランスをとっているのかもしれない」

観客と一体になり舞台を作っていく。それがファンタスティックスの醍醐味

人前に出たほうが力を発揮できるといって、生粋の舞台人。そんな彼に好きなシーンを尋ねると「オープニングとエンディング」という答えがかえってきました。客席から役者が自然に登場するオープニング、ハッピーエンドで紙ぶきが舞うエンディング。どちら

ようこそ!「ファンタスティックス」な世界へ

といいファンタスティックスそのものが僕の心の支えになっっているような感じですよ」。

それぞれが2年間で得た経験がおのずと影響してくる再演

ファンタスティックスは2002年にその歴史に幕を閉じるまでの42年間、オフブロードウェイで17162回という史上最長ロングラン記録を打ち立てたキング・オブ・ミュージカルです。初演では亜門演出の真髄であるテンポの良さ、爽快感を随所にちりばめながら、喜劇的な面白さとミュージカルの醍醐味である歌やダンスの華やかさをシンブルな舞台上で見事に表現。全国各地で高い評価を得て閉幕しました。それから2年という時を経て作られる今回の再演。いやがうえにも期待が高まります。

「マットは19歳という設定で、初演時の僕は23歳。初演の時はそのまま演じればよかったけど、も役者と観客が一体になれるシーンです。演じる側と見る側が垣根を越え、幸せな気分を分かち合うことができるミュージカル、ファンタスティックス。そんな至福の舞台が、再び北九州にやってきます。

「この作品は誰が見ても共感できる、ぜひどなたでも観に来ていただきたいです。派手な作品ではありませんが、喜んで帰っていただけることを保証します! (笑)。ミュージカルに馴染みの薄い方には、ミュージカルというものを知っていただくには絶好の作品です!。また、この舞台を観て僕のようにやりたいと思ってくれる人かもしれない(笑)。やっぱりそうしていかないと続いでいけませんね。そういう意味でも、ぜひみなさん見に来てください!」

彼らと共にファンタスティックスな感動を分かち合える日は、もう目前です。

今回はちょっと若々しくしないといけないかな(笑)。でも、後半部分の「苦難の旅」から帰って成長したマットを演じる部分は、前回よりも自分の経験を生かせるような気がします。亜門さんは今回、演出をあまり変えないと言っているのですが、どうなるかわかりませんよ! だって亜門さんは演出家としてブロードウェイデビューを果たした直後だし、僕やその他のキャストもこの2年間でいろんなことを経験しています。だから、必然的に初演とは違う舞台になるんじゃないかな。それから、再演って実はすごく大変なんです。初演を観てくださった方や演じる僕たちにも初演のイメージがあるので、それを打ち破っていくのが結構難しいんです」。



ミュージカル 亜門版「ファンタスティックス」

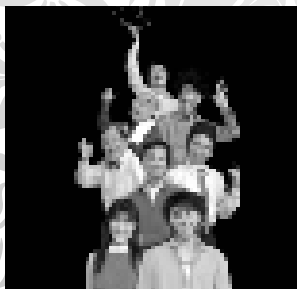
日時 2/23(水)19:00開演(18:30開場)
24(木)14:00開演(13:30開場)

会場 北九州芸術劇場 中劇場

脚本/作詞 トム・ジョーンズ 作曲 ハーヴェイ・シュミット
演出/振付 宮本亜門
出演 井上芳雄、大和田美帆、斉藤暁、沢木順ほか

料金 全席指定 5,000円
ステージベンチシート 5,000円
(ステージベンチシートは北九州芸術劇場プレイガイドのみ取扱)

発売中 Pコード B52-912 Lコード 89884

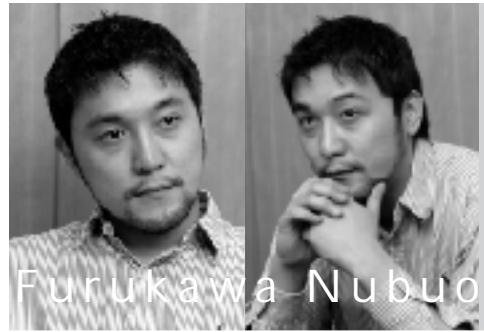
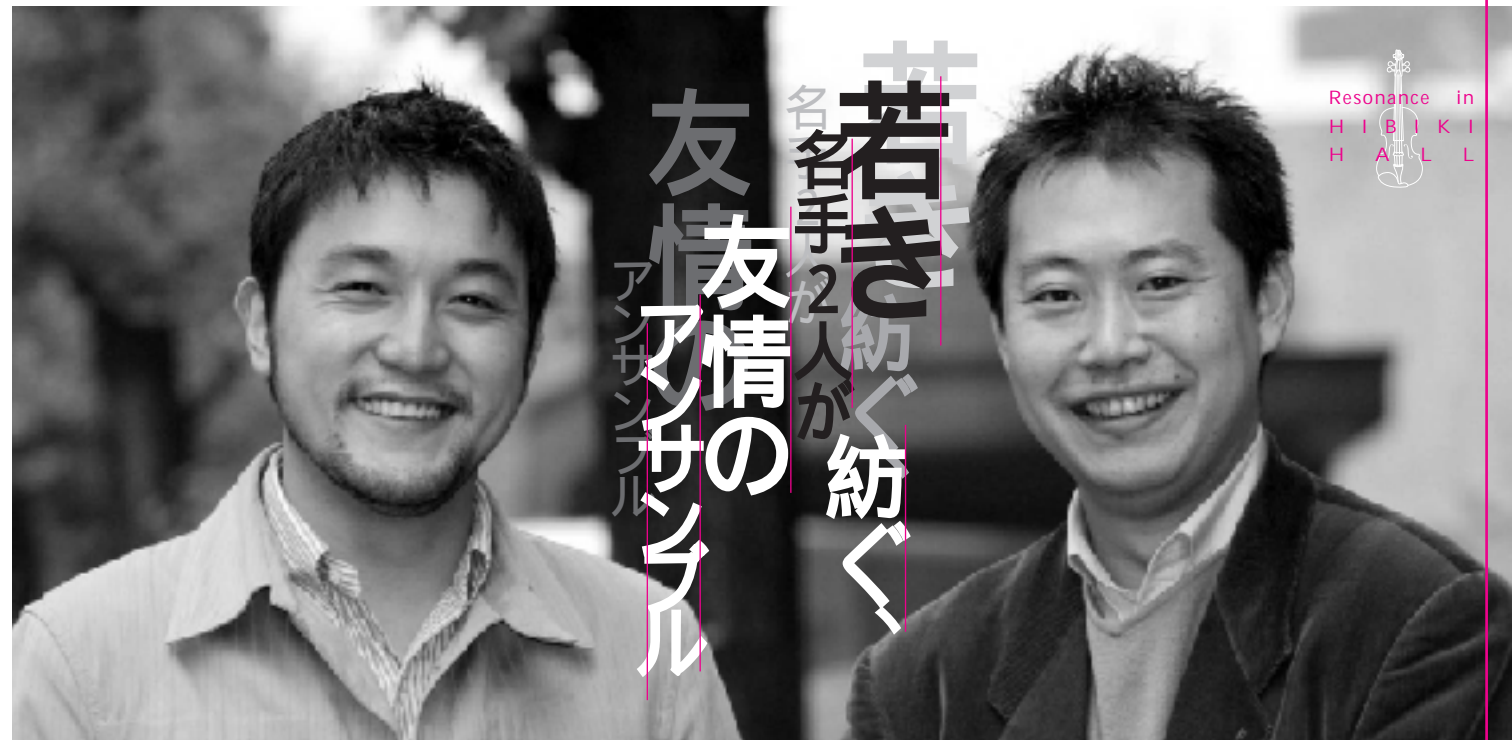


©西村淳

STORY...隣同士に住む、ちょっと変わった青年と夢見る少女は恋愛中。仲が悪い父親同士が二人を引き離すために、庭と庭の間に高い塀を作っている。一見、現代版ロミオとジュリエットのような、二人に結婚をして欲しいと望んでいる。実は大の仲良しである父親同士の策略なのだ。障害が高ければ高いほど、恋愛は盛り上がる。という読みどおり、知らない二人は塀越しの愛を深めていく。しかし結婚させるとなると、父親同士も仲良くならなければならない…。そして考えついたのは、役者を雇った狂言誘拐。誘拐されそうになった少女を青年が悪者から守るといふ設定だ。二人はまんまと狂言誘拐にひっかかり、少女を守った青年。愛はさらに深まり、父親同士も和解して、全てがハッピーエンド!...のはずだったのだが…

若き初々紡ぐ

友情のアンサンブル



Furukawa Nubuo

古川展生 チェロ
1973年京都生まれ。96年桐朋学園大学卒業。チェロを故・井上頼豊、秋津智承、林峰男の各氏に師事。96年ハンガリーのリスト音楽院に留学。98年帰国後、東京都交響楽団首席チェロ奏者に就任、現在に至る。ソリストとしても、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を中心とした室内オーケストラや、国内主要オーケストラとコンチェルトの共演を重ねる。サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭に毎年参加。ストリング・クワルテットARCOのメンバーでもある。全国各地においてソロ・リサイタルを開催。また様々な室内楽演奏会に出演するなど、精力的な活動を続けている。これまでに計6枚のソロCDをコロムビアミュージックエンタテインメントよりリリース。2003年第2回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。



Soshi Masaya

双紙正哉 ヴァイオリン
1972年北九州市生まれ。95年桐朋学園大学卒業。篠崎永育、徳永二男の両氏に師事。小学生時代から才能を發揮。86年全国日本学生音楽コンクール中学生の部で西日本大会第1位。大学在学中より広島交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務める。95年大学卒業と同時に東京交響楽団のアシスタント・コンサートマスターに就任。以後アンソニエイト・コンサートマスターを経て98年退団。現在、ソロ、室内楽を中心に活躍中。ストリング・クワルテットARCO、ストリング・アンサンブルVEGA、ジャパン・チェンバーオーケストラのメンバー。サイトウ・キネン・オーケストラにも毎年参加。2001年からは水戸室内管弦楽団に参加している。2004年、北九州市市民文化奨励賞を受賞。

2004響シリーズ第5弾 響ホール室内合奏団 コンサート

日時 2/13(日)15:00開演(14:00開場)

会場 響ホール

出演 澤和樹(指揮)、双紙正哉(ヴァイオリン)、古川展生(チェロ)、永野哲(ティンパニー)、響ホール室内合奏団
曲目 弦楽セレナーデ/スーク ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲/短調(弦楽合奏版)/プログラムスほか

料金 指定3,000円(前売のみ)
一般2,500円(当日3,000円)
学生1,000円(当日1,500円)

発売中 Pコード 189-937 Lコード 86357

響ホール室内合奏団

響ホール前館長・後藤忠雄氏の“地元の演奏家を育てていきたい”という熱意から98年に結成されたプロフェッショナルの弦楽合奏団。現在団員は23名で、コンサートマスターの徳久正紀をはじめ、北九州とその近郊在住の弦楽器奏者で構成されている。2003年からはミュージック・アドヴァイザーにヴァイオリニスト澤和樹が就任。同年9月と04年11月に2年連続で英国公演を成功させるなど、国内外で高い評価を得ている。



なんでも挑戦してみたいと思つていますので、とても貴重なチャンスです。しかもこの曲は小学生の時から大好きだったので、レコ

2004年秋には2年連続2回目となる英国公演も成功させ、その活動の幅を急速かつ着実に広げている響ホール室内合奏団。2月の響ホールの公演では、双紙正哉(ヴァイオリン)と古川展生(チェロ)をソリストに迎えてプログラムス・ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲などを演奏する。地元出身の双紙と、彼の無二の親友でもある古川にとっても、この共演は大きな楽しみとなっているようだ。

Q 双紙さんは地元のご出身で、このたび北九州市市民文化奨励賞を受賞されました。お生まれは？

古川 桐朋高校の音楽科は人数が少ないから、学年が違つてもみんな知り合いなんです。

Q お互いの第一印象は？

双紙 最初に会った時のことはもう憶えてないなあ。

古川 もう15年も前ですからね。逆に言えばさういふ憶えてないくらいに、頃からの付き合いが今もさうして続いているというのほうれいことです。ほんとにさうく仲良くならたのは大学の時からかもね。

双紙 そうね、弦楽合奏を一緒にやるのが、授業でトリオを一緒に組むとか、古川 なんか結構したね、成人してから、飲んだりもするようになったよ(笑)。

Q お互いにどんな高校生・大学生でしたか？

双紙 最初から古川は優秀な人物だと思つていました。

古川 いやいや、そんなことならただです。まあ、その科目は人数が少なく、高校では同じ学年で3人から5、6人。そういう意味ではアンサンブルを組んだりするときに引張りだになっちゃうんです。それより、彼はもうとにかくカッコイイ人で、人気者でした。

双紙 八八八八八八(高笑い)

古川 校内にアンサンブルがあったから、今でもイケメンって言われてた、でもイケメンですけどね、とにかく大人気。

Q 幼い頃から毎日猛練習を？

双紙 いえいえ、長くても日2時間くらいしか弾いてませんでした(笑)。

高校時代からの仲間、気心知れ合う2人

Q お二人は高校時代からの友人なんですか？

双紙 え、僕が1学年上。

Q ファンクラブには現在活躍している演奏家も？

双紙 知らないです。僕はそんなのあったことすら知らないですから、書かなくてくださいよ、こたなの笑。

Q 古川ファンクラブは？

古川 なかったです。

双紙 でもいいですよ、人気ですから、ずっと弾きたかったブラームスの二重協奏曲

Q プラームスの二重協奏曲は、二人のソリストが丁々発止とわたり合い、またある時はびったりと寄り添つて、さまざまな表情を見せる作品です。今回、ぜひ気の合った方同士で、というところでお二人に白羽の矢が立ったようですが。

古川 こういう編曲の存在を僕は知らなかったんですが、オリジナルの管弦楽版はオーケストラがすごく厚い編成。今回は弦楽版なので、繊細なサウンドを楽しめたかと思ひます。

双紙 弦楽合奏版はもうなんです。僕は北九州出身なので地元で活躍している響ホール室内合奏団と共演できるのもとても楽しみです。

Q お二人がともに活動している弦楽四重奏団、ストリング・クワルテットARCOは、すでに北九州国際音楽祭でも常連です。響ホールはいかがですか？

古川 とても良いホールですよ。双紙 すごく弾きやすい。

古川 弦楽版とはいっても、響ホールでこの二重協奏曲が演奏されるのはおそらく初めてのさういふ、さういふおもしろい瞬間にぜひ多くの方に立ち会っていただきたいですね。

双紙 故郷で演奏する機会はこれまでも何度かあったけれど、何回やっても、やっぱりいいものだと思えるようにしたいですね。ましてや、ソリストを弾くわけですから、納得できる演奏ができればなと思つています。頑張ります。

取材・文/宮本明 撮影/加藤幸広

演劇

ナイロン100 「消失」

ナイロン100、27回目のセッションとなるのは、メインレパートリーとなりつつある「シリアス・コメディ」。出演には、劇団外での活躍も多い精鋭メンバー5人に、TVのバラエティでもおなじみの八嶋智人を客演に迎える。前売券は残りわずかのお話作、お見逃しなく。



日時 北九州芸術劇場 中劇場
1/14(金)19:00開演 (18:30開場)
15(土)14:00開演 (13:30開場)

作・演出 ケラリー・サンドロヴィッチ
出演 犬山イヌコ、みのすけ、三宅弘城、大倉孝二、松永玲子 / 八嶋智人

料金 全席指定 4,000円
残席わずか

発売中 Pコード 352-908 Lコード 89879

演劇

南河内万歳一座 越冬スマックダウンツアー 「みんなの歌・2」

現代の劇的幻想性を爽快かつパワフルに描く!

繊細な内容を爽快・パワフルに描き出す南河内万歳一座の新作は、ネット自殺などに見られるインターネットの暗闇を演劇的に「遊んだ」前作「みんなの歌」の続編。前回に引き続き、幻想の案内人を軸として、現代の劇的幻想性を舞台上に鮮やかに出現させます。



撮影:谷吉宇正彦

日時
1/29(土)15:00開演 (14:30開場) / 19:00開演 (18:30開場)
30(日)15:00開演 (14:30開場)

北九州芸術劇場 小劇場

作・演出 内藤裕敬
出演 河野洋一、鴨鈴女、藤田辰也、荒谷清水 ほか

料金 全席自由・日時指定 3,500円

発売中 Pコード 352-906 Lコード 89878

北九州芸術劇場と大ホールで行なわれる(財)北九州芸術文化振興財団主催または共催の公演です。チケットのお買い求め、お問合せについてはP13をご参照ください。Pコードはチケットのみ、Lコードはローンチケットでのご予約時に使用する番号です。特に表記のない場合、当日券料金は掲載料金の500円増となります。特に表記のない場合、未就学児童のご入場は断念して頂きます。託児サービスをご利用ください。【有料/要予約 お問合せ0120-800-020X(093-882-5063)】

演劇

CHOICE! 「酒の神 ディオニュソス」

北九州芸術劇場提携公演 鈴木忠志演出
酒の神ディオニユソスへの狂信から、息子を殺した母親の苦悩と不幸を描いたギリシャ悲劇の物語。現代でも同じように繰り返される宗教と政治の争いをテーマに、社会状況を鋭く映し出した作品として世界で絶賛された、鈴木忠志の代表作です。

日時 北九州芸術劇場 中劇場
2/12(土)19:00開演 (18:30開場)
13(日)14:00開演 (13:30開場)

原作 エウリピデス
演出 鈴木忠志
出演 静岡県舞台芸術センター(SPAC)専属俳優、エレン・ローレン

料金 一般3,500円 学生2,000円

発売中 Pコード 356-953 Lコード 84890

演劇

西村雅彦プロデュース公演 「大騒動の小さな家」

Like Mother Like Daughter
3つ違いの実際の母娘の奇妙な共同生活と、周囲の人々が繰り広げる物語の結末に、明日の希望と活力が湧いてきます!

企画製作 ドリス&オレガ 作 橋本二十四
演出 山田和也
出演 西村雅彦、安達祐実、袴田吉彦、雛形あさこ、Take2 東真樹(予定)、高橋ひとみ、モロ師岡

日時 北九州芸術劇場 中劇場
1/8(土)18:00開演 (17:30開場)
9(日)13:00開演 (12:30開場)
17:00開演 (16:30開場)

料金 全席指定 6,000円

発売中 Pコード 352-909 Lコード 89881



「子午線の祀り」

「平家物語」に題材を取り、日本の戦後演劇史上「不朽の名作」と言われる木下順之の代表作。能、狂言、現代演劇がジャンルを超えてみごとに調和し、源平の合戦をめぐる人間模様や人々の心情を鮮明に描いています。

日時
1/18(火)17:00開演 (16:30開場)
19(水)14:00開演 (13:30開場)
上演時間4時間15分予定

北九州芸術劇場 大ホール

作 木下順之
演出 観世榮夫
出演 観世榮夫、野村萬高、高橋恵子、嵐広也 ほか

料金 全席指定 S席:9,000円、A席:6,000円、B席:3,000円

発売中 Pコード B52-910 Lコード 89882



撮影:久家清秀

演劇

「ロミオとジュリエット」

北九州芸術劇場 大ホール

作 W・シェクスピア 翻訳 松岡和子
演出 蜷川幸雄
出演 藤原竜也、鈴木杏 ほか

日時
2/4(金)18:30開演
5(土)13:00開演/18:30開演
6(日)13:00開演

料金 全席指定 S席:9,000円、A席:6,000円、B席:3,000円
前売券予定枚数終了

発売中 Pコード 352-907 Lコード 89880



シァターラポ2000『地蔵さんが転んだ』

演劇

今年度のシァターラポは、10月のリーディング公演を経て決定された松田清志作『地蔵さんが転んだ』。就職して長年家を離れ、何の連絡もなかった娘が突然帰ってきたことから巻き起こる、ある片田舎のこの家の物語。リーディング公演のお客さんからは、「設定がリアルで観たえがある」、「家族の温かさが伝わる話だ」などの声も聞かれました。

演出は、燐光群のアトリエ公演などの演出を手掛けてきた川畑秀樹氏の戯曲の持ち味を大切に創り上げる演出とオーディションで集まってきたキャストが出会い、シァターラポでどんな実験結果が生まれるのか、今度も楽しみながらです。

劇中講座から生まれ、選ばれた優秀戯曲に期待大!

日時 北九州芸術劇場 小劇場
2/19(土)14:00開演 (13:30開場)
18:00開演 (17:30開場)
20(日)14:00開演 (13:30開場)

作 松田清志
演出 川畑秀樹
出演 江口之章(青春座)、加賀田浩二(飛ぶ劇場)、坂井香奈美、粟山太司(飛ぶ劇場)、森光佐(のこされ劇場)、北村功治(飛ぶ劇場)、梅田剛利(劇団翔空間)

料金 全席自由・日時指定1,500円

発売中 Pコード B52-911 Lコード B9883

写真: 演劇の現場の様子



演劇

燐光群「屋根裏」

“ひきこもり”を新たな視点から描き、数々の賞を受賞した注目作、登場。

硬派な文学派と見せかけて、その実、現代社会へ鋭いアプローチや劇空間への高い意識で、他にはない演劇的快感を与えてくれる燐光群。各分野から高い評価を得た「屋根裏」の再演です。人々が自ら閉じこもるためのバックstage空間「屋根裏」が商品として流通しはじめ、そこから発信されるメッセージ、起こる事件の数々。独特なスピード感とともに疾走しながら



撮影:大原拓

日時 北九州芸術劇場 小劇場
3/5(土)14:00開演 (13:30開場)
19:00開演 (18:30開場)
6(日)14:00開演 (13:30開場)

作・演出 坂手洋二
出演 中山マリ、川中健次郎、猪熊恒和、大西孝洋、下総源太郎 ほか

料金 一般3,500円
学生2,500円
当日各300円増

発売中 Pコード 357-385 Lコード 85198

コンライブ

シティボーイズミックス PRESENTS 「タイトル未定」

年に一度のプレミアムライブが初上陸!



毎年GW恒例、シティボーイズのコンライブが九州初上陸です!大竹まこと、きたろう、斉木しげるらが、テレビとはひと味違った魅力で披露する生の笑いを体感してください。

日時 北九州芸術劇場 大ホール
5/24(火)19:00開演
25(水)14:00開演

出演 シティボーイズ(大竹まこと、きたろう、斉木しげる)、中村有志 ほか
演出 細川徹
作 細川徹、坪田星、丸二祐亮 ほか

料金 全席指定 S席6,300円、A席5,300円

一般発売 3/5(土) Pコード 358-680 Lコード 86287

CHOICE!

人形浄瑠璃 文楽 伝統芸能

世界無形文化遺産である人形浄瑠璃、文楽の世界に浸ってみませんか?昼の部は、未亡人お囀りの口説きと人形の美しさで有名な世話物、艶容女舞衣、酒屋の段、あふれる時代物、義経千本桜、道行初音旅、うさぎぼんやぐら、みゆきぼんやぐら。夜の部は、中年男性と少女の心中事件をもとにした世話物、桂川連理棚、帯屋の段からわかれのしがらみ、あひのだん、そして安珍・清姫の道成寺伝、説による時代物、日高川人相花王、渡し場の段、ひだかがり、あさくらのわたはたなどです。

日時 戸畑市民会館 大ホール
3/11(金)
昼の部 14:00開演 (13:30開場)
「艶容女舞衣」酒屋の段、「義経千本桜」道行初音旅
夜の部 18:00開演 (17:30開場)
「桂川連理棚」帯屋の段、「日高川人相花王」渡し場の段

料金 全席指定 S席:3,000円、A席:2,000円
昼・夜総入替制

発売中 Pコード B52-914 Lコード B9886

写真: 浄瑠璃の人形



撮影:本校通信部新聞部 高野航

1*2*3 | CALENDAR of PROGRAM

北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

11月8日 2005 北九州ニューイヤーコンサート
～華麗なるウィンナ・ワルツの饗宴～
時 17:00(16:00開場)
料 一般/S席2,500円 A席2,000円
問 (財)北九州芸術文化振興財団
音楽事業課 093-662-3025

11月8日 「大騒動の小さな家」
Like Mother Like Daughter
時 8日/18:00(17:30開場)
9日/13:00(12:30開場)
17:00(16:30開場)
料 一般/6,000円(当日/6,500円)

11月10日 がちんこ親父セミナーIII
「絆」～地域に残る芸能の復活～
時 14:00(13:00開場)
料 一般/1,000円 小学生以下/500円
問 戸畑区まちづくり推進課 093-871-1501

11月14日 ナイロン100°C
27th SESSION「消失」
時 14日/19:00(18:30開場)
15日/14:00(13:30開場)
料 一般/4,000円(当日/4,500円)

11月16日 名越&岩本ピアノ教室発表会
時 13:00(12:30開場)
料 無料
問 名越ピアノ教室 093-471-7018

11月18日 「子午線の祀り」
時 18日/17:00(16:30開場)
19日/14:00(13:30開場)
料 一般/S席9,000円(当日/9,500円)
A席6,000円(当日/6,500円)
B席3,000円(当日/3,500円)

11月21日 北九州市民劇場1月例会
無名塾「いのちぼうにふるう物語」
時 13:30 21日 22日 23日 24日
18:30
開場は開演の各30分前
料 会員制
市民劇場会員でない方はお問い合わせください
問 北九州市民劇場 093-541-0075(水上)

11月23日 第65回PAMコンサート
時 14:00(13:30開場)
料 会員無料 一般/1,000円
問 音楽の広場 PAM 093-662-2615

11月29日 南河内万歳一座
越冬スマックダウンツアー
「みんなの歌・2」
時 29日/15:00(14:30開場)
19:00(18:30開場)
30日/15:00(14:30開場)
料 一般/3,500円(当日/4,000円)

11月24日 蜷川幸雄演出
「ロミオとジュリエット」
時 4日/18:30(18:00開場)
5日/13:00(12:30開場)
18:30(18:00開場)
6日/13:00(12:30開場)
料 一般/S席9,000円(当日/9,500円)
A席6,000円(当日/6,500円)
B席3,000円(当日/3,500円)

11月12日 福岡県立小倉商業高等学校吹奏楽部
第8回定期演奏会
時 18:00(17:30開場)
料 一般/300円(当日/400円)
問 福岡県立小倉商業高等学校 093-921-2245(田代)

11月12日 北九州芸術劇場提携公演
鈴木忠志演出
「酒の神 ディオニュソス」
時 12日/19:00(18:30開場)
13日/14:00(13:30開場)
料 一般/3,500円(当日/4,000円)
学生/2,000円(当日/2,500円)

11月13日 全国幼稚園・保育園
ミュージックフェスティバル
時 12:30(12:00開場)
料 一般/700円(当日/800円)
子ども/400円(当日/500円)
問 全日本幼児教育連盟 096-211-6017(佐元)

11月13日 北九州ドラマ創工房発表公演
「かつば語り 陣山市場人模様」
時 13:00(12:30開場)
17:00(16:30開場)
料 無料(入場整理券有り)
問 北九州芸術劇場学芸係
093-562-2535(野林/西田)

11月19日 北九州子ども劇場2月低学年部例会
「あとむのお話コンサート」
時 14:00(13:30開場) 18:30(18:00開場)
料 会員費
子ども劇場会員でない方はお問い合わせください
問 北九州子ども劇場 093-884-3834

11月19日 シアターラボ2005
「地蔵さんが転んだ」
時 19日/14:00(13:30開場)
18:00(17:30開場)
20日/14:00(13:30開場)
料 2,000円(当日/2,000円)

11月20日 チャイルドアンサンブル
フェスティバル
時 11:00(10:30開場)
14:00(13:30開場)
料 無料
問 チャイルドアンサンブル 093-962-1815(國廣)

11月23日 ミュージカル 亜門版
「ファンタスティックス」
時 23日/19:00(18:30開場)
24日/14:00(13:30開場)
料 一般/5,000円(当日/5,500円)

11月31日 若林かおり バレエアート発表会
時 17:30(17:00開場)
料 一般/2,000円(当日/2,500円)
問 若林かおりバレエアート 093-922-1159

11月5日 燐光群「屋根裏」
時 5日/14:00(13:30開場)
19:00(18:30開場)
6日/14:00(13:30開場)
料 一般/3,500円(当日/3,800円)
学生/2,500円(当日/2,800円)

11月6日 FMS福岡ミュージックスクール
公演会
時 15:00(14:30開場)
料 無料
問 福岡ミュージックスクール 093-921-8585

11月10日 北九州市民劇場3月例会
エイコーン「令嬢ジュリー」
時 10日 11日 12日 13日 14日 15日 16日
13:30 17:00(16:30開場)
開場は開演の各30分前
料 会員制
市民劇場会員でない方はお問い合わせください
問 北九州市民劇場 093-541-0075

11月20日 北九州市立板櫃中学校
吹奏楽部第3回定期演奏会
時 13:00(12:30開場)
料 無料
問 板櫃中学校吹奏楽部 093-561-4993(栗本)

11月21日 福岡県立小倉南高等学校
第12回定期演奏会
時 18:00(17:30開場)
料 無料
問 福岡県立小倉南高等学校吹奏楽部
093-921-2293(中野)

11月24日 北九州芸術劇場プロデュース
「ルル～破滅の微笑み～」
時 24日 25日 26日 27日
14:00 19:00
開場は開演の各30分前
料 プレビュー公演 S席3,800円(当日/4,300円)
A席2,800円(当日/3,300円)
本公演 S席4,800円(当日/5,300円)
A席3,800円(当日/4,300円)

11月26日 北九州消防音楽隊
第31回定期演奏会
時 14:00(13:30開場)
料 無料(往復葉書による応募、
応募多数の場合は抽選)
問 北九州消防局 093-583-3466(山下、正門)

11月27日 福岡教育大学附属
小倉中学校吹奏楽部
第10回定期演奏会
時 18:00(17:15開場)
料 無料
問 福岡教育大学附属 小倉中学校吹奏楽部
090-8621-8334(守次)

11月28日 北九州市立霧丘中学校
吹奏楽部
第17回定期演奏会
時 16:00(15:30開場)
料 無料
問 北九州市立霧丘中学校 093-931-6558(新谷)

11月29日 第7回
北九州市立沼中学校吹奏楽部
定期演奏会
時 18:30(18:00開場)
料 無料
問 北九州市立沼中学校 093-472-0784(皿本)

11月30日 福岡県立小倉東高等学校
吹奏楽部
第15回定期演奏会
時 18:00(17:30開場)
料 一般/500円
問 福岡県立小倉東高等学校吹奏楽部
093-473-4466

11月31日 劇団銀河鉄道の
ぬいぐるみミュージカル
「おおかみと7ひきのこやぎ」
時 11:30(11:00開場)
14:30(14:00開場)
料 一般/1,000円
問 劇団 銀河鉄道 03-3667-8871

響ホール HIBIKI HALL

11月8日 五嶋みどり&R.マクドナルド
デュオ・リサイタル
(世界のクラシックシリーズ)
時 14:00(13:30開場)
料 一般/S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円
問 (財)北九州芸術文化振興財団
093-662-3025

11月9日 北九州伯林の管弦楽団演奏会
時 15:00(14:30開場)
料 無料
問 北九州伯林の管弦楽団 093-611-6706(中西)

11月16日 高見女声コーラス第13回演奏会
時 14:00(13:30開場)
料 一般/1,000円
問 高見女声コーラス 093-582-8211(渡辺)

11月21日 堀米ゆず子 新春ヴァイオリン・リサイタル
時 19:00(18:30開場)
料 一般/5,040円 高校生以下/3,150円
問 北九州労音 093-571-0227

11月23日 ピアノ発表会
時 14:00(13:30開場)
料 無料
問 高丸 093-761-3057

11月26日 2004響シリーズ第4弾
小山実雅恵&フランツ・リスト室内管弦楽団
時 19:00(18:00開場)
料 一般/指定席(前売のみ)/4,000円
学生/1,500円(当日/2,000円)
問 (財)北九州芸術文化振興財団
音楽事業課 093-662-3025

11月30日 カワイ音楽コンクール
時 9:40(9:25開場)
料 無料
問 カワイ音楽教室 093-621-1013

11月31日 九州交響楽団第37回北九州定期演奏会
時 19:00(18:00開場)
料 一般/3,500円 学生/1,500円
問 (財)北九州芸術文化振興財団
音楽事業課 093-662-3025

11月26日 PTC合同発表会
時 10:30(10:00開場)
料 無料
問 (株)ヤマミュージック九州小倉店
093-531-4342(山田)

11月13日 2004響シリーズ第5弾
響ホール室内合奏団コンサート
時 15:00(14:00開場)
料 一般/指定席(前売のみ)/3,000円
/2,500円(当日/3,000円)
学生/1,000円(当日/1,500円)
問 (財)北九州芸術文化振興財団
音楽事業課 093-662-3025

11月20日 ビティナピアノコンペティション
入賞者記念演奏会
時 10:30(10:00開場)
料 一般/1,000円 学生/500円
問 (株)こうのピアノ/店 093-561-4007(神崎)

11月24日 アマラウ・ビエイラ ピアノリサイタル
時 19:00(18:30開場)
料 一般/4,500円
問 民音北九州サービスセンター
093-521-0161(飯島)

11月27日 北九州市民吹奏楽団 第24回定期演奏会
近藤義造悼
時 15:00(14:30開場)
料 一般/500円
問 北九州市民吹奏楽団 093-761-0610(坂口)

11月31日 第28回
レディスコーラスフェスティバル
時 10:30(10:00開場)
料 無料
問 (財)北九州芸術文化振興財団
音楽事業課 093-662-3025

11月12日 福岡教育大学附属小倉中学校
16年度合唱祭
時 13:00(12:30開場)
料 無料
問 福岡教育大学附属小倉中学校(守次)
093-541-8621

11月13日 第2回貞国みどり&貞国音楽教室門下生
によるジョイントコンサート
時 14:00(13:30開場)
料 一般/1,000円 学生/500円
問 貞国音楽教室 093-202-7439(貞国)

11月17日 西南女学院高等学校音楽部3年生
フェアウェルコンサート
時 18:00(17:30開場)
料 要整理券
問 西南女学院高等学校音楽部
093-583-5800(尻戸)

11月22日 八幡高校ジョイントコンサート2005
時 18:00(17:30開場)
料 無料
問 福岡県立八幡高等学校 093-651-0035(成田)

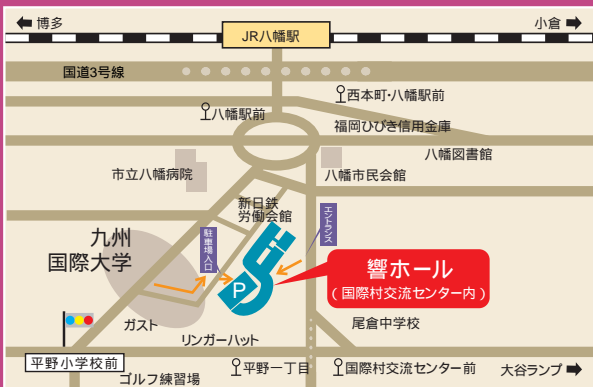
北九州芸術文化振興財団主催事業
演目会場
子午線の祀り
時 18日/17:00(16:30開場)
19日/14:00(13:30開場)
料 一般/S席9,000円 A席6,000円 B席3,000円
問 開催時間 前売料金 主催 お問い合わせ先
問 問合せ:北九州芸術劇場芸術文化情報センター
093-562-2655



北九州芸術劇場 KITAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER

〒803-0812 北九州市小倉北区室町1丁目1-11 リバーウォーク北九州6F
TEL 093-562-2655 FAX 093-562-2526(5F 芸術文化情報センター)
http://www.kitakyushu-performingartscenter.or.jp

新幹線:新幹線小倉駅より西小倉駅へ2分、西小倉駅より徒歩3分
空港:北九州空港よりJR日豊本線下関駅経由、西小倉駅まで約25分
JR:小倉駅より徒歩10分、西小倉駅より徒歩3分
乗用車:都市高速道路、小倉駅北ランプから車で5分
専用の駐車場はございません。リバーウォーク北九州(1時間300円)ほか周辺の駐車場をご利用ください。
尚、北九州芸術劇場をご利用のお客様に、お得なリバーウォーク北九州割引駐車券を劇場にて販売しています。
(第2パーキングではご利用いただけません。)



響ホール HIBIKI HALL

〒805-0062 北九州市八幡東区平野1-1-1 国際村交流センター内
TEL 093-662-4010 FAX 093-662-0100
http://www.kiopac.org/hibiki/

JR:鹿児島本線八幡駅下車。徒歩約10分。 / 西本町・八幡駅前下車 徒歩約8分 /
市立八幡病院前下車徒歩約5分 / 国際村交流センター前下車徒歩約2分
乗用車:都市高速道路、大谷ランプから車で10分。

Relay Essay

つなぎあう言葉、響きあうところ



Koyama Michie

小山実稚恵

ライター

私は今までに3回ほど、ご縁があつて北九州で演奏させて頂いています。緑も多く、食べ物が美味しい北九州。特に甘いものに目がない私は、前回頂いたシュークリームの味が忘れられず、今回は時間があれば買っていくつもりです。そんな北九州・響ホールへ訪れる度に思つていますが、響ホールは名前の通り、本当に響きがいいで

すね。演奏する側としては、楽器の音がそのまま聞こえてくるというか、生々しくなく、とても温かいんです。また演奏中、舞台上でも集中できるので、本当に素晴らしいホールだと実感しています。1月に響ホールで行われる演奏会は、ハンガリーの「フランチ・リスト室内管弦楽団」との共演です。小さな編成といつこともあり、一人ひとりと気持ちの通ったコントラクトがとれるので、細かい音まで創り込んで演奏できるのが聴きどころの一つ。大きなオーケストラとの演奏も、それはそれで魅力はあるのですが、「こつこつ」管弦楽団との共演は、躍動感を生み出せる点が心地よく、私自身もとても楽しみにしています。演奏もさることながら、今回すぐ嬉しいのは曲目。私が本当に好きな3曲のうちの1曲「モーツァルトのピアノ協奏曲第27番」を

弾けることなんです。27番は神様と対話するような天使の声のような曲ですから、響ホールでどんな音色になるのか、想像しただけでワクワクします。さらに、今回演奏する「ピアノ協奏曲19番」は、隠れた名作。モーツァルトは、20番以降が有名なのですがこの曲は変化があつて、チャミンゲで…。残念ながら日本ではあまり演奏されることがなく、私も今回の「フランチ・リスト室内管弦楽団」との日本ツアーでこの19番を弾くのは響ホールでの演奏会だけです。この滅多にない機会をどうぞお楽しみに。

Profile

1982年チャイコフスキー国際コンクール第3位、1985年ショパン国際コンクール第4位と、二大国際コンクールに初めて入賞。その後も、海外オーケストラとの協演や世界の第一線で活躍する指揮者との共演、日本のオーケストラの海外ツアーにソリストとして度々同行するなど、人賞、実力ともに日本を代表するピアニストとして目覚ましい活躍を続けている。2005年にはショパンコンクール入賞から20年を迎え、東京、仙台、京都にてコンセルトの記念演奏会を開催するほか、ショパンのバラード全曲を中心にした全国リサイタルツアーを行う。東京芸術大学、同大学院修了。吉田見知子、田村宏氏に師事。

編集後記

今号は「やっぱりイケメン 揃い踏み!」といつも以上にワクワクして取材に臨んだところ、みなさん見た目だけでない「カッコよさ」にあふれていました。白井さんの知的なお話ぶりや細やかな心配り、井上さんのキラキラした瞳の奥の意志の強さ、双紙さん、古川さんの気さくななかにもお互いを尊敬、信頼しあっている雰囲気。どうぞ新年、それぞれのステージでお確かめください。

特に表記のない場合、本誌掲載情報は平成16年12月13日のものです。

ステージ通信 Q に関するお問合せは
(財)北九州市芸術文化振興財団 093-562-2655